



## 新しい環境でがんばっています

木々の緑が色濃くなり、季節の移り変わりを感じます。令和5年度のかわち学園での生活も1か月が過ぎました。進級やクラス替えなどもあり、児童生徒の明るい笑顔の中にも時折、少し緊張した表情が見られるときもありました。しかし、今では新しい生活にもだいが慣れ、何事にも一生懸命取り組もうとする姿が校舎のあちらこちらで見られます。4月は様々な場面で、1年間の見通しをもったり目標をたてたりすることが中心でした。また、各学年で学習や生活の仕方を確認する場面も設定されました。新しいことを目の前にして、「頑張るぞ」と決意を固めた初心を忘れずに1年間取り組んでほしいと思います。5月3日から5連休になります。身に付いた新学年での学習習慣は維持しつつ、1か月間がんばった心と体をリラックスさせる時間がとれるとよいと思います。

5月8日(月)からのコロナウィルス感染症5類移行については、ご家庭の皆様においても関心の高いところであると思います。3年間以上におよぶ感染症予防対策を中心に置いた学校生活から大きな変化になります。児童生徒が混乱したり不安になったりせず安心して学校生活を送れるよう対応して参ります。国や県の意向をふまえなが進めてまいります。適宜、情報を配信いたしますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 入学・進級おめでとうございます！



4月11日(火)に、河内町長をはじめたくさんのご来賓をお招きし、第6回入学式を行いました。今年度は52人の1年生が入学しました。新入生呼名では、担任から名前を呼ばれると、一人一人がはっきりと元気よく返事をし、全員の名前が呼び終わるまで、しっかりとした態度で待つことができました。また、式辞やお祝いのあいさつを聞いているときの態度も実に立派で、ご家庭の皆様や、就学前に在籍していた認定こども園や幼稚園、保育園等の取組で身に付けた力を活用できていると感じました。「おめでとうございます」ということばに必ず、「ありがとうございます」と答えていた1年生。コミュニケーションの基本である「ことばのキャッチボール」ができている様子に、今後の活躍を期待する気持ちが高まりました。

今年度は、5・6年生が前日から体育館を中心に式場を準備し、2～6年生が入学式を見守りました。学年が上がると共に、自分のことだけでなく、学校全体のために働く機会が増えていきます。学校の行事は全体への奉仕的な気持ちや態度を養うことも目的としています。みんなでかわち学園校歌を元気に歌う姿に1年生を迎える上学年としての自覚が感じられました。



<真剣にお話を聞く1年生>

≪1年生を見守っている上学年の今の思いを紹介します≫

- 1年生がものすごくかわいいです。(9年生)
- 1年生のことを大切にしているいろいろ教えてあげたいと思いました。(9年生)
- みんなで1年生の入学式に参加できてよかったです。すごく久しぶりにみんなで集まってできたのでとてもうれしかったです。(6年生)
- 1年生だけでなく、いろいろな学年の手本にならなくちゃいけないんだと思いました。(8年生)
- 1年生はすごく元気で楽しそうだな、と思いました。(6年生)



<2～6年生も参加しました>

## たくさんのご参加ありがとうございました

4月22日(土)には授業参観・PTA総会・学年学級懇談にご参加いただきありがとうございました。今回は人数制限のない授業参観でしたが、ご家庭の皆様のご協力のもと、静かな環境で授業参観していただくことで児童生徒も授業に集中して取り組むことができました。多くの児童生徒はご家庭の皆様に参加していただくことを楽しみにしております。当日、いつもの力以上を発揮して自信につなげるためにもこれからも静かな参観にご理解・ご協力をお願いいたします。また、参集によるPTA総会は4年ぶりとなりました。たくさんのご家庭の皆様に見守られながら総会を実施できたことに感謝申し上げます。総会の中でもお伝えしましたとおり、本校の教育目標は「夢や希望をもち自ら考え行動できる児童生徒の育成」です。ご家庭・地域・学校が一体となってこの教育目標を達成できるよう取り組んでまいります。



<懇談会後、新メンバーでの合同専門委員会も実施しました>

## 1年生を迎える会・創立記念集会を行いました



4月27日(木)に児童生徒会主催で1年生を迎える会・創立記念集会を開きました。第一部「1年生を迎える会」は6年生が中心となり会を進行しました。はじめに1年生自身による自己紹介。1年生が全校児童生徒の前で自己紹介をするのはかわち学園の伝統です。続いて、2年生からの心のこもったプレゼント。温かい雰囲気では進行しました。第二部は創立記念集会です。学校全体をリードする9年生が進行しました。児童生徒会長からかわち学園の統合までの歴史も紹介されました。「かわち学園クイズ」では大いに盛り上がり、久しぶりに体育館が歓声でいっぱいになりました。

お願い



- 連休中は各地域で田植えが行われたり、行楽地に向かう自動車が増加するなど普段と交通状況も変わります。交通安全教育については学校でも日常的に実施しておりますがご家庭でも重ねてお話しください。
- 学年が上がるにつれて、動画視聴やオンラインゲームなどの長時間利用による生活時間の乱れが見られる傾向があります。また、様々な事件事故に巻き込まれる原因ともなります。学年が上がっても、保護者の皆様の管理や見守りは必要です。ゴールデンウィーク後の学習や生活に大きな影響も与えますのでお気を付け下さい。

## 学校だよりの名称について

昇降口から入ると正面に大きな絵が掲示されています。この作品は、日本画家で日展会員の藤島博文氏(つくば市在住)から贈られたものです。藤島氏は、かわち学園のデザインにも関わっていただきました。絵の題名は「鳳雛(ほうすう)世界の空へ」です。鳳雛とは、中国神話の伝説の鳥である鳳凰(ほうおう)の雛で、将来を期待されている少年のことです。つまり、立派に育った河内っ子が世界に羽ばたいていく、社会の中で活躍するという願いが込められています。河内町を背景に大小5羽の鳳凰や鳳雛が表現され、河内町内の旧小中学校が統合したイメージも含まれています。学校にお越しの際はぜひご覧ください。今年も「鳳雛だより」を通して、ご家庭や地域の皆様にかわち学園の様子を発信してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



(文責 秋山 美穂)

